

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ポラリスひろばNEXT石川教室		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		2024年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	集団療育の中で様々な経験・体験を通して働くことを見据えた自立スキルや、コミュニケーション能力、社会性等を身に着く機会があること。	様々な活動プログラムを、日にち別に設定している。探求プロジェクト、生活スキル、ビジネストレーニング、SST等。長期休暇や祝日に行う楽しみ行事や将来に繋がる職場体験・見学等を行っている。	中学生になると自身の好きなカリキュラムへの参加に偏ってしまうため、また様々なスキル習得をしてほしいため、他カリキュラムへの興味関心を引き出したり、楽しめる内容を設けたりすることで、参加ができるように充実化を図りたい。
2	自立のための取り組み(拠点送迎・自己連絡・自己管理調節)	時間の意識や自身で来所するという意識等、自立のためにご本人とも連絡を取り合うようにしている。	公共交通機関利用での通所。交通機関はハードルが高く、また慣れるまで付き添いが必要なため、余裕をもった人員体制のもと取り組んでいきたい。
3	児童同士のディスカッション。意見の反映。	定期的に児童同士のディスカッションを行い、自身の意見を発信し、相手の意見を聞き入れ、また相手を否定しない会話の仕方等、会話のルールを取り入れながら行っている。全員でよりよいものをみんなで作り上げていったり、計画を立てるように協力を養い、また司会や書記を決める事で、その役割を経験ができるようにしている。	それぞれの考えや意見を尊重しながら、その中で現実的な物事の考えの中で取り組めるように工夫していきたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育がメインのため、個別対応療育が難しい。マンツーマン対応でじっくりと進める療育は弱みだと感じる。週1～2回や月2回といった利用が多く、継続した療育が難しい。リセットされやすい。また曜日で通所というより児童の活動の好き嫌いで選択ができてしまい、必要と思われるカリキュラムに参加が難しい。	中学生が多く、利用を子どもの判断に委ねる場合が多く、休むハードルが下がっている感じを受ける。その自由選択がカリキュラムの好き嫌いで利用に繋がっている様子もある。	見通しが立てるように詳しくカリキュラム内容を明確化している部分もあったが、すべてではなく、詳細を載せない活動やお楽しみ活動のような日を設けたりとバランスよく行えるよう工夫をしたい。また保護者との連携をより強化し、曜日利用の強みを伝え、利用を促していきたい。
2	自由な時間・余暇の確保。(自由な関わり合い) 決められた活動以外での、自由や余暇といった部分で表出する課題や得られる経験・スキルもたくさんある。	中学生メインで下校も遅い為、短い時間のなかでの療育に自由時間やまとまった余暇時間を取るのは現状だと難しい。小休憩程度。	まとまった余暇時間等の確保するかを検討。確保する場合は行事以外での自由・余暇タイムをカリキュラム自体に組み込むことの検討。リフレッシュ時間として。
3			